

平成26年3月14日

那須烏山市議会議長 佐藤 雄次郎 様

文教福祉常任委員会委員長 板橋 邦夫

予算審査結果報告書

本委員会に平成26年3月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成26年3月10日（月）及び12日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 板橋邦夫、田島信二、高田悦男、中山五男、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 大野治樹、健康福祉課長 小口久男、こども課長 青木敏、
学校教育課長 網野栄、生涯学習課長 堀江功一、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課の平成26年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・社会保障・税番号制度、通称マイナンバー制度について平成28年度からの本格的な運用に向けた準備が平成26年度から始まるとのことである。市の業務の根幹に関わる事業であるので、関係各課で十分な連携をとり遺漏なく進められたい。

健康福祉課

- ・平成26年10月5日に本市で開催されるねりんピック栃木「俳句交流大会」は、全国各地からの来客が見込まれる大変大きな行事であり、対応に苦慮されるであろうことは想定できる。しかし、市の知名度向上やイメージアップを図れるよい機会であるので、担当課のみの対応とせず、市一丸となって準備に万全を期されたい。
- ・健康診断は疾病の早期発見、早期治療につながる重要な事業である。平成26年度から集団健康診断の自己負担分の軽減を実施することだが、このことのみをもって受診率が劇的に改善するものではないと思われる。引き続き地道な普及啓発に努められたい。なお、医療費や介護費の抑制のためには、早期発見も重要であるが、多くの市民が健康を維持することが最も効果的である。健康増進や疾病予防に十分な力をかけ、トータルとしての費用抑制を図られたい。

学校教育課

- ・栃木県立高等学校の存続を目的とした通学支援事業についてであるが、その効果は限定的なものと言わざるをえない。しかし、これはあくまで暫定の策であ

り、その他の支援策は新たに設立する検討委員会で検討されるとのことである。今後速やかに各方面から知恵を持ち寄り、市内唯一の高等学校存続のため万策を講じて対応に当たられたい。

生涯学習課

- ・平成34年に栃木県で第77回国民体育大会が行われることが決定した。国内最大のスポーツの祭典である国体により身近に関わることで、地域のスポーツ文化は大きなよい影響を受けることができる。また、交流人口の獲得や市の知名度向上など二次的な効果も期待できる。本市の厳しい財政状況では新たな施設整備をすることは難しいが、既存施設を有効に活用し、市内において一つでも競技が行われることになるよう努力されたい。
- ・新たに放課後子ども教室推進事業がこども館を会場に実施されるとのことである。こども館及び放課後児童クラブを所管するこども課とよく調整し、効果的な運営に当たられたい。

